

新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金（令和3年度実施計画分）事業実績及び効果検証

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	うち交付金 充当額 (円)	事業実績	効果検証
1	教育施設等感染防止対策事業	①教育施設等（放課後児童クラブ・町民運動場・総合センター・町立学校・町立保育園・給食センター）の新型コロナウイルス感染対策を行うことにより、安全安心に施設を利用していただける環境を整える。 ②新型コロナウイルス感染症対策に係る経費 8,826,373円	R4. 4. 1	R5. 3. 31	8,557,367	7,520,000	感染症対策用品に係る経費 ・修繕料：4,851,973円 ・非接触自動ドア、換気対応サッシ等 ・消耗品費：2,056,494円 ・アルコール消毒液、パーテーション、手袋等 ・備品購入費：1,648,900円 空気清浄機、エアコン	感染症対策を実施したことにより、感染リスクが低減した。 対象施設内でのクラスター発生件数：0件
2	成人式開催のための抗原検査実施事業	①コロナ禍で安全安心に成人式実施するために、出席者が新型コロナウイルスを罹患していないか確認する抗原検査を行う費用を助成する。 ②抗原検査料（智頭町成人式実行委員会への委託）	R4. 12. 15	R5. 1. 25	176,000	170,000	抗原検査実施に係る費用 ・消耗品費：176,000円 抗原検査キット	抗原検査を行ったことで、会場内での感染リスクが低減した。 成人式起因のクラスター発生件数：0件
3	新型コロナウイルス感染症対策修学旅行等バス借上助成事業	①コロナ禍で修学旅行、宿泊研修、部活動大会参加等を実施するためには、移動中の安全確保が必要となり、貸切バスの利用が不可欠となる。また、バス車内での密を緩和する必要があるためバスの台数を追加したり、より大型のバスを手配する必要がある。そのための借上料を助成・支出をする。 ②バス借り上げに係る経費補助	R4. 4. 18	R4. 12. 27	721,155	700,000	バス借上げに係る経費 ・補助金：516,005円 小学校、中学校への補助 ・車借上料：205,150円	バス車内での密を緩和したことにより、感染防止を行うことができた。 修学旅行を起因とするクラスター発生件数：0件
4	小学校タブレット導入事業	①町立小学校にタブレットを配置し、通常授業にて積極的に活用することにより、新型コロナウイルス感染症の影響で臨時休校、学年閉鎖等が発生した時に家庭学習のツールとして活用する。 ②タブレット端末購入に係る経費	R4. 9. 2	R4. 9. 30	3,665,200	3,660,000	タブレット端末購入に係る経費 ・備品購入費：3,665,200円	臨時休校、学年閉鎖等が発生した時の家庭学習ツールとして活用する体制は整った。 整備した端末を所持する児童が所属するクラスの臨時休校：0件
5	親子ふれあい時間創出事業	①町立ちづ保育園利用者に対し、新型コロナウイルス感染症対策のための外出自粛により減少する親子のふれあいを補強するため、保育園内に保護者が利用できる絵本貸し出しコーナーを設置する。 ②保護者用絵本貸し出しコーナー設置に係る経費	R4. 5. 13	R5. 3. 31	141,548	140,000	保護者用絵本貸し出しコーナー設置に係る経費 ・図書購入費：141,548円	感染症対策を実施したことにより、感染リスクが低減した。 対象施設内でのクラスター発生件数：0件
6	体力づくり健康増進事業	①新型コロナウイルス感染症の影響で外出して体を動かす機会の減っている智頭町民の健康増進を目的として、智頭温水プールのインストラクターによるヨガ・ストレッチ教室や、トレーニング機器の活用指導により運動の機会を提供し、生活習慣の運動不足の解消と体力・免疫の向上を図る。 ②体力づくりによる感染症対策事業費	R4. 4. 6	R4. 10. 31	300,000	200,000	体力づくりに係る経費 ・委託料：300,000円	運動の機会を提供し、生活習慣の運動不足の解消と体力・免疫の向上に資した。
7	森林セラピー・民泊PR推進事業	①本町の自然を生かした主力の観光素材である森林セラピーがコロナ禍で低迷しているため、コロナ後を見据えたPRを行うことにより、本町への誘客を促進する。 ②森林セラピーのPRに係る経費	R4. 4. 22	R5. 3. 31	616,000	600,000	森林セラピーのPRに係る経費 ・手数料：616,000円 セラピー案内看板設置・修繕	セラピー案内看板の設置・修繕を行ったことにより、コロナ後を見据えた体制づくりへ繋がった。 設置：1件、修繕：1件 ＜セラピー等体験者数＞ R3：213人、R4：619人、R5：522人
8	健康交流プロジェクト	①新型コロナウイルス感染症の影響で、本町の自然を生かした主力の観光素材である森林セラピー事業が低迷しており、アフターコロナ・ウィズコロナを見据えた拡充を行うため、ワーケーションのモニターツアー等を実施しメニューの充実を図る。 ②ツアー実施及びPR等に要する経費	R4. 5. 11	R5. 2. 28	400,000	200,000	ツアー実施及びPR等に要する経費 ・補助金：400,000円 セラピー推進協議会補助金	モニターツアー実施により、智頭町森林セラピーを広く関西圏のお客様へ周知できた。 ＜セラピー等体験者数＞ R3：213人、R4：619人、R5：522人

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	うち交付金 充当額 (円)	事業実績	効果検証
9	地方税共通納税システム拡大事業 (QRコード)	①地方税のQRコード収納を導入することで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として住民の窓口での密集を避けるとともに新しい生活様式 (マルチペイメント) を構築する。 ②収納消込システム委託料	R4. 10. 4	R5. 3. 31	3, 866, 500	3, 850, 000	収納消込システム導入に係る経費 ・委託料：3, 866, 500円	地方税のQRコード収納を導入することで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として住民の窓口での密集を避けることに繋がった。
10	役場窓口キャッシュレス決済事業	①証明料等の支払いサービスに電子マネー等の利用を可能とするための機器を導入することで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として現金やりとりを避けるとともに新しい生活様式 (マルチペイメント) を構築する。 ②収納機器購入費	R4. 4. 10	R4. 10. 31	109, 560	100, 000	収納機器購入に係る経費 ・備品購入費：109, 560円	交付手数料支払いの利便性向上および新型コロナウイルス感染症対策として接触機会を削減することが出来た。
11	共助交通実証実験事業	①新たな公共交通の仕組みにAIデマンドバスを取り入れることにより、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、大人数を運ぶ公共交通から小規模で細やかな共助交通に切り替えていくことにより、効率的かつスムーズな交通体系を構築し、併せて密を避けた安全な交通体系とする。 ②共助交通実証実験事業に係る経費	R4. 8. 5	R5. 3. 27	11, 991, 100	11, 990, 000	共助交通実証実験事業に係る経費 ・委託料：11, 990, 000円	AIデマンド交通システムを構築し、全町域での実証実験を行うことができた。 以下R4実績。 実証実験予約658件、乗車人数741人
12	コネクテッドカー活用事業	①コネクテッドカーに5Gを搭載し、e-sportsやフレイル予防診断等を行うことによって、コロナ禍で出かけることができない地域住民のレクリエーションや健康増進の機会を確保する。さらに接続できるネットワーク環境を拡充し、住民の利便性を向上させる。 ②コネクテッドカー活用に係る経費	R4. 9. 1	R5. 3. 31	1, 408, 220	1, 300, 000	コネクテッドカー活用に係る経費 ・委託料：1, 408, 220円	コネクテッドカーを整備し、出張型の行政サービスを提供することができる環境を整えることができた。 以下R4実績。 マイナンバーカード申請86人/15回、eスポーツ体験3回、ロコモ・フレイル測定143人/18集落・団体
13	観光素材魅力アップ事業	①新型コロナウイルス感染症の影響で県内外からの観光客が減少している状況であるが、コロナ禍やアフターコロナを見据えた観光客の誘致を目的に、本町の観光資源・魅力の一つである千代川畔沿いに咲く桜並木をライトアップすることにより、更なる魅力アップを行い、誘客を図る。 ②桜並木をライトアップ経費	R4. 10. 1	R5. 3. 31	2, 365, 000	2, 300, 000	桜並木をライトアップに係る経費 ・備品購入費：2, 365, 000円 LEDライトアップ機器	可搬型のLEDライトアップ機器を導入し、河畔で開催されるイベントに合わせたライトアップを行い、誘客促進を図ることができた。 ライトアップ期間：R5. 3. 27～桜caféイベント (約4, 000人)
14	麒麟のまちDMO連携観光促進事業	①新型コロナウイルス感染症の影響で観光客が減少している状況を打破するため、ウィズコロナ・アフターコロナを見据えた観光客の誘致を目的に、麒麟のまち圏域の体験コンテンツ及び宿泊促進のためのキャンペーンを実施し、圏域及び本町への誘客を図る。 ②キャンペーン実施に係る経費	R4. 4. 1	R5. 3. 31	280, 000	280, 000	観光キャンペーンに係る経費 ・負担金：280, 000円 麒麟のまちDMO公益事業負担金	当該事業の実施により、麒麟のまち圏域における観光客の誘致や周遊、宿泊の促進につながった。 R4実績 圏域年間入込客数5, 956, 612人
15	森のミニデイ環境整備事業	①介護予防のため森のミニデイ行う施設の改修を行うことで、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として広いスペースを確保し、密を避けた環境整備を行うことにより、コロナ禍においても活動を継続する。 ②施設改修に係る経費	R4. 6. 1	R4. 8. 24	1, 904, 000	1, 900, 000	ミニデイ施設改修に係る経費 ・補助金：1, 904, 000円 施設指定管理先への補助	地域の高齢者の介護予防に資するための環境整備を行うことができた。 R4実績 森のミニデイ47回 参加者900人 (うち高齢者717人)
16	グランピング体制整備事業	①本町の自然の豊かさを生かしたグランピング実施により、コロナ禍で減少した観光客の誘客を図るため、旧山形小学校内にグランピング可能な体制を整備する。 ②施設改修に係る経費	R4. 4. 1	R4. 9. 28	3, 850, 000	3, 850, 000	グランピング施設改修に係る経費 ・補助金：3, 850, 000円	コロナ禍で減少した観光客の誘客を図るためのグランピング環境整備を行うことができた。 R4実績 63組 235人
17	公共施設等感染防止対策事業	①役場庁舎や公共施設の利用における新型コロナウイルス感染症対策を行うとともに、Web会議等に対応できる環境を整備する。 ②避難所等における環境整備に係る費用	R4. 4. 1	R5. 3. 31	4, 124, 108	3, 210, 000	避難所等における環境整備に係る経費 ・消耗品費：1, 367, 508円 マスク、抗原検査キット、パーテーション等 ・手数料：550, 000円 避難所毛布洗浄・リパック ・備品購入費：2, 206, 600円 空気清浄機、体表温度測定器等	感染対策物品を購入し、庁舎、公共施設、避難所での感染拡大防止を行うことが出来た。庁舎、公共施設、避難所でのクラスター発生0件。

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	うち交付金 充当額 (円)	事業実績	効果検証
18	スクールバス購入事業	①スクールバスを増台することにより、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として密を避けることができ、コロナ禍においても安全安心に通学することができる。 ②スクールバス購入経費	R4. 7. 22	R5. 3. 24	17,468,000	17,400,000	スクールバス購入経費 ・備品購入費：17,468,000円	換気対策を施した車両を導入し、感染リスクを低減した。 購入したバスを起因とするクラスター発生件数：0件
19	病院事業会計繰出・補助	①病院事業会計に繰出、新型コロナウイルス感染症対策に係る施設内環境整備やPCR検査、感染防護具等に係る費用を交付対象経費とする。 ②自動ドア修繕【非接触式】・PCR検査費用・感染防護具購入	R4. 4. 1	R5. 3. 31	5,500,000	5,500,000	自動ドア修繕【非接触式】・PCR検査費用・感染防護具購入に係る経費 ・繰出金：5,500,000円	配膳室の入口自動ドアを非接触にすることにより、感染リスクを低減することができた。 PCR等検査：79名 職員等の感染不安が低減し、業務遂行することができた。 感染防護具の備蓄により、院内クラスター発生時、適正な感染対策が実施できた。
20	生活困窮者応援給付金 (光熱費助成・物価高騰分)	①コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する生活困窮者等へ支援を行う。 ②生活困窮世帯への扶助費	R4. 6. 16	R4. 7. 14	546,000	270,000	生活困窮世帯への扶助に係る経費 ・給付金：546,000円 7,000円×78世帯	生活保護等の生活困窮世帯へ給付金を支給することにより、その世帯の生活の一助となった。(該当世帯へ100%支給)
21	原油価格高騰に係る低所得世帯助成事業	①コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する低所得世帯へ支援を行う。 ②低所得世帯への扶助費	R4. 7. 11	R4. 10. 13	10,980,000	10,980,000	住民税均等割のみ課税世帯への扶助に係る経費 ・給付金：10,980,000円 60,000円×183世帯	住民税均等割のみ課税世帯へ給付金を支給することにより、その世帯の生活の一助となった。(申請世帯へ100%支給)
22	ひとり親世帯支援臨時特別給付金事業	①コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面するひとり親世帯へ支援を行う。 ②ひとり親世帯への給付金給付	R4. 6. 17	R5. 3. 31	830,000	820,000	ひとり親世帯への給付金上乗せに係る経費 ・補助金：830,000円 10,000円×83人	対象者に迅速に助成することで、物価高騰による負担軽減を図ったと考えられる。
23	子育て世帯生活支援特別給付金事業	①コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する低所得の子育て世帯へ支援を行う。 ②ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯への給付金給付	R4. 6. 17	R5. 3. 31	620,000	620,000	ひとり親世帯以外の低所得の子育て世帯への給付金上乗せに係る経費 ・補助金：620,000円 10,000円×62人	対象者に迅速に助成することで、物価高騰による負担軽減を図ったと考えられる。
24	地域通貨による生活支援、地域活性化促進事業(物価高騰分)	【No. 25と2行に分けて記載】 ①コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する全住民へ町内で利用可能な地域通貨(杉小判)を発行することにより、町民の生活支援と地域経済の活性化を支援する。 ②地域通貨及び地域通貨換金等に要する経費	R4. 6. 16	R4. 11. 29	30,000,000	29,299,000	【No. 25との合計額】 地域通貨及び地域通貨換金等に要する経費 ・消耗品費：20,000円 テープ、のり、折りたたみコンテナ等 ・通信運搬費：684,000円 ・委託料：1,966,690円 ・交付金：31,828,000円 杉小判1人5,000円配布のうち使用分	町民に対して、町内加盟店で使用可能な地域通貨を配布することにより、コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する町民の生活や地域経済の下支えとなった。 地域通貨使用率：98.2%
25	地域通貨による生活支援、地域活性化促進事業(R3補正分)	【No. 24と2行に分けて記載】 ①コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する全住民へ町内で利用可能な地域通貨(杉小判)を発行することにより、町民の生活支援と地域経済の活性化を支援する。 ②地域通貨及び地域通貨換金等に要する経費	R4. 6. 16	R4. 11. 29	4,498,690	4,000,000	【No. 24との合計額】 地域通貨及び地域通貨換金等に要する経費 ・消耗品費：20,000円 テープ、のり、折りたたみコンテナ等 ・通信運搬費：684,000円 ・委託料：1,966,690円 ・交付金：31,828,000円 杉小判1人5,000円配布のうち使用分	町民に対して、町内加盟店で使用可能な地域通貨を配布することにより、コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する町民の生活や地域経済の下支えとなった。 地域通貨使用率：98.2%
26	事業取りやめ	-	-	-	-	-	-	-
27	アフターコロナ観光・移住定住促進事業	①新型コロナウイルス感染症の影響で県内外からの観光客が減少している状況を打破するため、アフターコロナ・ウィズコロナを見据えた、観光・移住・定住の積極的な推進に向けた取組を行う。 ②観光・移住PR、計画策定を行う。	R4. 8. 29	R5. 3. 25	5,159,000	5,000,000	観光・移住PR、計画策定に係る経費 ・委託料：5,159,000円 観光・移住定住推進ビジョン策定業務、情報発信業務	コロナ後の観光・移住・定住推進を見据えたビジョンを策定。また、町PRのためのテレビ番組「冠ルーヤ」とタイアップした。 視聴率10.7%
28	生活困窮者応援給付金 (光熱費助成・重点交付金分)	①コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する生活困窮者等へ支援を行う。 ②生活困窮世帯への扶助費	R4. 9. 20	R4. 11. 30	1,064,000	539,000	生活困窮世帯への扶助に係る経費 ・給付金：1,064,000円 14,000円×76世帯	生活保護等の生活困窮世帯へ給付金を支給することにより、その世帯の生活の一助となった。(該当世帯へ100%支給)

No.	事業名	事業の概要 ①目的・効果 ②交付金を充当する経費内容	事業始期	事業終期	総事業費 (円)	うち交付金 充当額 (円)	事業実績	効果検証
29	物価高騰に係る低所得世帯助成事業	①コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する低所得世帯へ支援を行う。 ②低所得世帯への扶助費	R4. 10. 14	R5. 2. 28	4,900,000	3,407,000	住民税均等割のみ課税世帯への扶助に係る経費 ・給付金：4,900,000円 25,000円×196世帯	住民税均等割のみ課税世帯へ給付金を支給することにより、その世帯の生活の一助となった。(申請世帯へ100%支給)
30	地域通貨による地域活性化促進事業 (重点交付金分)	【No. 32と2行に分けて記載】 ①コロナ禍において原油価格・物価高騰等に直面する生活者を支援するとともに、疲弊した地域経済の活性化を図るため、町民へ町内で使用可能な地域通貨(杉小判)を発行する。 ②地域通貨及び地域通貨換金等に要する経費	R4. 10. 17	R5. 3. 6	28,000,000	28,000,000	【No. 32との合計額】 地域通貨及び地域通貨換金等に要する経費 ・消耗品費：20,000円 テーブル、折りたたみコンテナ等 ・通信運搬費：638,466円 ・委託料：1,971,475円 ・交付金：31,620,000円 杉小判1人5,000円配布のうち使用分	町民に対して、町内加盟店で使用可能な地域通貨を配布することにより、コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する町民の生活や地域経済の支えとなった。地域通貨使用率：98.1%
31	中小企業等エネルギー価格高騰対策支援事業	①コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する町内中小企業を支援し、地域経済の持続を図る。 ②中小企業に対する補助金及び受付業務委託料。	R4. 10. 14	R5. 3. 31	8,803,175	6,000,000	中小企業に対する補助金及び受付業務委託に係る経費 ・委託料：200,000円 ・交付金：8,603,175円	当該事業の実施により、町内における中小企業の経営を支援し経済の持続性にある程度の効果が見られた。 R4 町内廃業件数13件
32	地域通貨による地域活性化促進事業 (R3補正分)	【No. 30と2行に分けて記載】 ①コロナ禍において原油価格・物価高騰等に直面する生活者を支援するとともに、疲弊した地域経済の活性化を図るため、町民へ町内で使用可能な地域通貨(杉小判)を発行する。 ②地域通貨及び地域通貨換金等に要する経費	R4. 10. 17	R5. 3. 6	6,249,941	3,000,000	【No. 30との合計額】 地域通貨及び地域通貨換金等に要する経費 ・消耗品費：20,000円 テーブル、折りたたみコンテナ等 ・通信運搬費：638,466円 ・委託料：1,971,475円 ・交付金：31,620,000円 杉小判1人5,000円配布のうち使用分	町民に対して、町内加盟店で使用可能な地域通貨を配布することにより、コロナ禍における原油価格や電気・ガス料金を含む物価高騰等に直面する町民の生活や地域経済の支えとなった。地域通貨使用率：98.1%
33	デジタル田園都市国家構想推進交付金	①コロナ禍において、ミニデイ等介護予防教室や、健康体操教室などの取組が制限されるなか、デジタル技術を活用した健康アプリやコンテンツを効果的に提供することにより、住民の生活習慣の見直しや健康意識の醸成を図り、健診率向上を目指す。 ②デジタル健康脳測定会事業実施に要する経費	R4. 5. 27	R5. 3. 27	56,226,500	26,665,000	デジタル健康脳測定会事業実施に要する経費 ・委託料：56,226,500円	IP告知端末を活用したアンケート調査、各地域での健康測定会を実施し、コロナ禍において健康意識の醸成を図ることができた。 以下R4実績。 特定健診受診率39.7%、健康動画視聴率3%、デジタル健康測定会参加人数25人
				合計	225,321,064	183,470,000		